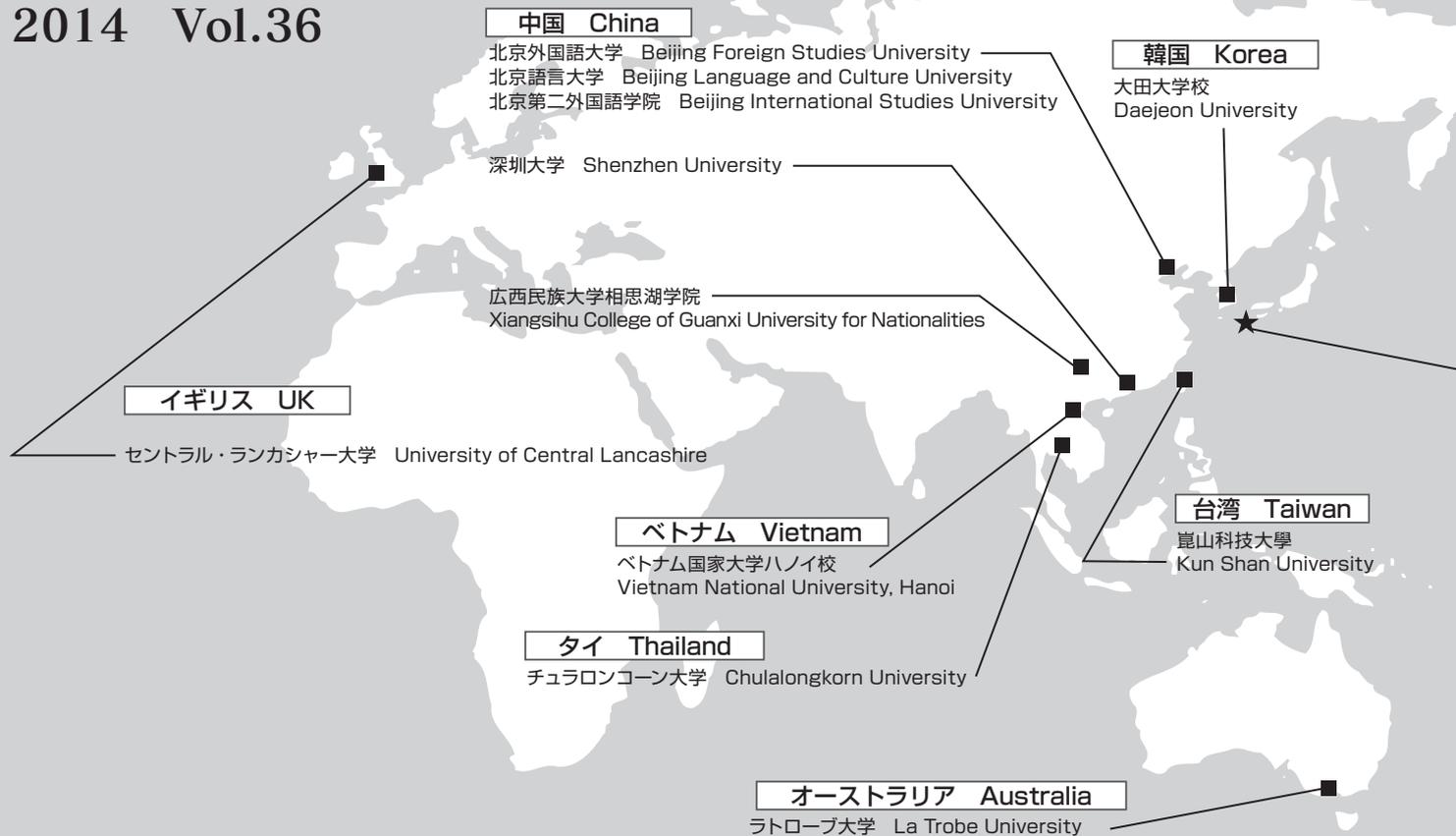


国際交流シタ一

2014 vol.36
International Exchange Letter





目次

巻頭言	熊本学園大学 学長 国際交流委員長	幸田 亮一 カーク・マスデン	2
<hr/>			
TOPICS	第 24 回外国人留学生弁論大会 留学生 王童さんの活躍を紹介します 公式 Facebook 運用開始 新協定校紹介 広西民族大学相思湖学院 (中国) ブータン王国日本語学校の学生たちと学園大生の交流 日本人学生が会館に入居しました 学部の国際交流		4
<hr/>			
サマープログラムレポート	～イギリスで学んだこと～		8
<hr/>			
第 55 回外国人による日本語弁論大会の出場を通して	王 童 (福祉環境学科 3 年)		10
<hr/>			
日本語の難しいところ・面白いところ	John Esparza (国際経済学科 3 年) Danielle Fleury (国際経済学科 4 年) Mark Dragwidge (英米学科 3 年)	Nayamai Rukkiatwong (国際経済学科 4 年) 蘇 文 怡 (国際経済学科 2 年) 徐 郁 雯 (国際経済学科 4 年)	11
<hr/>			
外国語の難しいところ・面白いところ	櫻木 かおり (英米学科 5 年) 松 隈 由 佳 (国際経済学科 5 年) 龍 利 晃 (リーガルエコノミクス学科 4 年)	小 平 千 秋 (国際経済学科 4 年) 藤 田 皆 人 (経営学科 4 年) 山 平 千 晶 (東アジア学科 4 年)	14



クマガクのキャンパスから世界に飛びだそう。

熊本学園大学 学長 幸田 亮一

私が初めて外国に行ったのは21歳の時の1976年のことでした。当時在学していた長崎大学経済学部には東南アジア研究会というのがあって、大学の援助も少し頂いて、仲間とともにタイ、マレーシア、シンガポールを回ってきました。

初めて見たバンコクの印象は強烈でした。熱気むせかえる道路をドアのない車がひっきりなしに走っており、バスで移動する時はドアにしっかり掴まったまま、体を半分外に出したままでした。しかし、それとは対照的にチュラロンコン大学を訪ねると整然とした美しいキャンパスが広がっていました。バンコクからクアラルンプールを経てシンガポールまで国際列車に乗って途中の駅でチマキなどの弁当を買って、夜は床に新聞紙をひいて雑魚寝して過ごしたのもよい思い出です。当時は、タイ共産党がときどき事件を起こしていた時で、列車が襲われるかもしれないと緊張していました。また、マレーシア西北部のペナン島では友人と二人で農村を歩き回り中国系住民とのコミュニケーションを、砂に漢字を書いてやり取りした情景も鮮明に覚えています。リー・クアンユー首相による「開発独裁」が進んでいたシンガポールは、整然とした都市計画が進展中で、たばこの吸い殻を捨てたら重い罰金ということで緊張もしました。

若い時の体験は貴重です。昔と違い、いまはLCC

の就航やインターネットによるホテル予約など、実に簡単に外国に行くことができる時代を迎えています。もちろん、それだけに頼ると思わぬ失敗があります。数年前の夏にドイツに行った時のことです。事前に日本からインターネットでホテルを予約したので安心と思って、交通機関を乗り継いでそこに行ってみると、何かへん。張り紙を読むと、このホテルは一昨日倒産したと書いてあるではないですか。夕方だったのであわてて、そこに書いてある連絡先に電話して、たどたどしいドイツ語で何とか別のホテルを確保することができてホッと一安心した次第です。

建学時より外国に目を向けてきた本学は、現在、世界中の様々な地域の大学と多様な国際交流プログラムを準備しています。Seeing is believing！学生諸君、クマガクを活用していろいろチャレンジしよう。クマガクのキャンパスから世界に飛びだそう。





留学のススめ

国際交流委員長 **カーク・マステン**

「可愛い子には旅をさせよ」という言葉があります。浅井了意が書いた『東海道名所記』の中の一文がこの格言の元となっているようですが、350年以上経った今でもますます重要な教えではないかと思えます。江戸初期の「旅」はおそらく徒歩でできる範囲のもので、現代人からすると「近場」に限定されたものであったのではないかと想像しますが、親元や住み慣れた地域を離れることが成長のきっかけとなるのは、昔も今も変わらない真実でしょう。

めまぐるしく変化していく国際情勢のなかでも、浅井了意の言葉のように変わらぬ知恵もありますが、やはり、「時代遅れ」となった常識が問題になることもあります。私が担当している講義のなかで、この現象の例として、ハンス・ロスリングという公衆衛生学者の動画（TEDトークと呼ばれるプレゼンテーション）を紹介することがあります。ロスリング氏は、カロリンスカ医科大学で教えはじめるにあたって、この名門に通う学生が知らないような知識など自分にはあまりないのではないかと心配していたそうです。そこで、いくつかの国における乳児死亡率に関する二者択一のクイズをして、まず学生の知識を試すことにしました。意外なことに、そのエリート学生の正解率は「チンパンジー以下」という結果になりました。つまり、二者択一の問題でしたので、チンパンジーでも5割程度の正解率になるはずですが、なんと学生の正解率は36%程度でした。それは結局、学生たちがそれまでの教育のなかで、現在の实情に合わない古い常識を吸収していたためなのです。

学生にとって、留学するかどうか、留学するならどこに行くかというのは重要な選択になりますが、国際情勢に関する古い常識が学生の判断を誤らせることがあるのではないかと危惧しています。私が所属している経済学部のなかの海外研修プログラムへの応募状況はその一例になるのではないかと思います。英語圏、中国、韓国という三つの研修先を学生たちのために用意し、20年以上参加を募集してきましたが、中国や韓国コースは応募人数が足りず、成立しないことが何回もありました。不成立の要因としてさまざまなことが考えられますが、「留学＝英語圏」という古い常識がその一因ではなかったかと思いません。英語という言語や英語圏の国々の影響力は今後も重要であることは間違いありませんが、ニュースになる摩擦とは裏腹に、日本とアジア諸国の経済関係はますます重要になってきているのも事実です。経済に関するデータだけで留学先を決めるのはよくないでしょうが、やはり、古い常識にとらわれることなく、世界に飛び立つことがますます必要になってきているのではないかと思います。

留学先の選択は難しいときもあると思いますが、「留学する」と「留学しない」という段階の選択では、ぜひ「留学する」方を選んでほしいと思います。留学先で何を学ぶことになるのか、どのような意味で成長することになるのかが前もって十分に予想できなくとも、留学はさまざまな発見や成長につながるということは間違いなくと思います。「可愛い子には旅をさせよ」という古い言葉が現在も有効な理由はこういうところにあるでしょう。



第24回外国人留学生弁論大会

6月の恒例行事である外国人留学生弁論大会は、本学に在籍する外国人留学生が、彼らの日本語能力の向上を図ると共に日本人との相互理解を深めることを目的として開催されます。今年は、5カ国7名の留学生がこの大会に出場しました。会場には、学生、教職員及び地元の皆さんが詰めかけてくださり、留学生たちの発表に聞き入りました。

最優秀賞に選ばれたのは、カナダからの交換留学生ダニエル・フルーリさんによる発表でした。旅先で偶然出会った絵を描いているおばあさんを通して、自分自身が綺麗な風景を見た時にカメラを通して見てばかりで物事の本質を見ていないことに気付かされ、人生においての真の豊かさとは何かを考えさせられたと発表しました。



＜左から＞平松燈国際交流委員（審査員）、川田亮一商学部教授（審査員）、彭冬冬、李松熙、ダニエル・フルーリ、張瀚丞、ナヤマイ・ラッキヤットウォン、ジェームス・ハワード、勇偉、カーク・マスデン国際交流委員長

審査結果

最優秀賞	国際経済学科 4年	ダニエル フルーリ Danielle Fleury	(Canada) (カナダ)	絵を描いているおばあさん
優秀賞	商学科 3年	張 瀚 丞 Zhang Han Cheng	(China) (中国)	日本文化点描
	英米学科 3年	李 松 熙 Lee Song Hee	(Korea) (韓国)	偏見ー私を落ち込ませた言葉、私を強くした言葉
敢闘賞	英米学科 3年	ジェームス ハワード James Howard	(United Kingdom) (イギリス)	日本へ来てからの私の変化
	国際経済学科 4年	ナヤマイ ラッキヤットウォン Nayamai Rukkiatwong	(Thailand) (タイ)	ゴミの分別、立派な国へ小さな一歩
オーディエンス賞	国際経済学科 4年	ダニエル フルーリ Danielle Fleury	(Canada) (カナダ)	絵を描いているおばあさん

私費留学生 王童さんの活躍を紹介します

「第55回外国人による日本語弁論大会」（主催：国際交流基金他、後援：NHK他、会場：松江市）に本学の私費留学生 王童さんが出場しました。発表テーマは「私のはてな、日本語のおへそーオノマトペ」。留学生ならではの視点で日本語のオノマトペに注目し、感じたことや考えたことを披露しました。

3年前、王さんは本学にて開催された「第22回外国人留学生弁論大会」に出場し、最優秀賞及びオーディエンス賞に選ばれています。（関連記事 10 ページへ）

公式 Facebook 運用開始

国際教育課では、2014年6月に課の公式 Facebook の運用を開始しました。熊本学園大学における国際教育・国際交流に関する情報を発信していきます。

<https://www.facebook.com/kumagakukokko>



楽しいイベントを
紹介しています！

新協定校紹介 広西民族大学相思湖学院（中国）

広西民族大学相思湖学院は、2002年に広西民族学院相思湖学院として創設され、2004年、中国教育部（日本の文部科学省に相当）の認可を受け、全日制大学となり、2006年、名称を広西民族大学相思湖学院へと変更しました。学生数は、約7,900人。管理学部、国際貿易学部、情報工学部、人文社会学部、語文学部、芸術学部、思想と政治理論教育学部の7つの学部があります。専任教員は440名（うち教授55名、副教授88名、修士学位以上の学歴を有する教員数247名）。

2014年4月に交流協定を締結し、2014年秋学期には、相思湖学院から第1期交換留学生4名を迎えました。



ブータン王国・日本語学校の学生たちと学園大生の交流

2014年3月12日ブータン王国から日本語学校の学生23名が本学を訪れました。ブータンの学生たちは、女性は「キラ」、男性は「ゴ」という民族衣装に身を包んでいました。学生会館4階学生ホールにて本学の学生たちと手作りの名刺交換をはじめ、クマモンや折鶴などの折り紙遊びをして交流を行いました。交流会の中では彼らはブータンの踊りを披露してくれました。恋の歌であるゆっくりしたメロディとリズムに合わせた踊りは、しなやかで美しく、会場にいた全員がうっとり聞き入りました。

彼らは、外務省が進める絆プロジェクト・青年交流事業の一環で来日し、熊本市を訪れました。今回の訪問団受け入れにあたり、本学では全学生へ交流参加を呼びかけ、集まった学生とともに、事前の準備から当日の出迎え、交流、見送りまで訪問団を歓迎しました。



国際交流会館に日本人学生が入居しました

2014年9月から3名の本学学生が「熊本学園大学国際交流会館」に入居して、海外からやって来た交換留学生たちの日本での学生生活を支援してくれています。入居後3ヶ月ほど経ったので、会館での生活について感想を聞いてみました。

「楽しい！ とてもインターナショナルな体験ができています。本からは分からない、海外の学生達の生の声が聞けて、今を知れるという感じです。」「会館に帰ると、

皆に「お帰り～」と言ってもらえるので、インターンシップから疲れて帰っても、皆から元気を貰えています。」「日本語を手伝ってあげて感謝してもらえるのも嬉しいし、中国語を教えてもらえます。」「集団生活の大変さはやはりあります。特に、異文化のため習慣も違うから、そこから発生する課題をコミュニケーションで埋めていく努力も必要となります。』（関連記事 22 ページへ）



学部の国際交流

◆経済学部

すでに教職員や学生間で交流のあったカンボジアのアンコール大学（シェムリアップ市）と、今年の7月に正式に学部間協定を締結し、経済学部の「International Internship」というプログラムで、11名の学生達を8月に派遣した。

「International Internship」は、学生が海外で研修やボランティアに参加するというプログラムで、経済学部が2002年に開設した科目である。今年度のカンボジアへの研修プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の「平成26年度海外留学支援制度（短期派遣）」に採択された。

参加学生達は、春学期に事前研修として、本学で事前調査や準備を行い、期待と不安を抱えながら、笑顔で出発した。現地では、孤児院訪問や井戸掘りなど現地コミュニティへの支援活動、アンコール大学の日本語教育アシスタントといったボランティア活動や同大の学生達と現地コミュニティの共同調査等を行い、カンボジアの経済や日本との経済関係などの学習に取り組んだ。



ブラユース村での経済調査の様子



孤児院での活動の様子



International Internship でカンボジアへ出発する学生達

2014年10月22日、ミャンマーのヤンゴン経済大学と、学生交流、学術交流を主とする学部間協定を締結した。ミャンマーは、2011年民主化の後、アジア最後のフロンティアとも称される国であり、2015年ASEAN経済共同体（AEC）が発足し、世界から注目されている。

ヤンゴン経済大学は、ミャンマーの最大の都市であるヤンゴンに本部を置く、歴史ある名門大学である。



本学の細江経済学部長とヤンゴン経済大学長

学部の国際交流

◆外国語学部

カナダのビクトリア大学と学部間協定を締結し、イングリッシュランゲージセンターのELPIへ毎年英米学科から10名ほどの学生達を派遣している。4月出発と9月出発が選択できる。12週間の英語研修を修了した後に、8週間のインターンシップを現地で経験できるもので人気が高いプログラムである。



◇「日本語教員養成課程」海外実習

この課程では、海外に進出した日系企業で働く外国人、日本で学ぶ留学生など、日々の生活で日本語を必要とする人たちに日本語を教える資格を持つ「日本語教員」になるために、基礎から実習に至るまで体系的に学び、修了時に「修了証明書」を取得することができる。優れた語学力に加えて、日本語を教える力を養うことは、学生にとって付加価値を高め、将来の活躍の場を広げることになる。

2015年度の海外実習先は、以下の通り。

- ①台湾 台湾国立政治大学(台北市)
- ②韓国 大田大学校(大田広域市)
- ③オーストラリア ラトロープ大学(メルボルン市)

◆社会福祉学部

韓国の順天郷大学校(忠清南道牙山市)と学部間協定を結び、毎年、学生研修団の交流を行っている。「海外フィールドワーク」という科目で毎年9月に順天郷大学校へ行き、11月に先方からの学生達を受け入れ、双方で、社会福祉関係施設等を訪問したり、学生達がプレゼンテーションを行う教育交流を実施している。



ドイツのハイネリッヒ・ハイネ大学(デュッセルドルフ市)の人文科学部と学部間協定を2014年3月に締結し、2015年4月から第1期の交換留学生を派遣予定である。



SUMMER
2014
PROGRAM



University of Central Lancashire

UCLAN

The Content of Summer Program

サマープログラムとは？

英国にある唯一の協定校セントラル・ランカシャー大学で夏期休暇中の3週間、英語を学ぶプログラムです。授業は月～金の午前9時～12時半、午後1時半～3時までの二部構成です。3週間のプログラム中には3回の日帰り旅行が組まれており、今回はヨーク、湖水地方、マンチェスターに行きました。

授業内容について

【語学】 英文法：日常生活で使うと便利な文法。インプット&アウトプット

【プレゼンテーション】 毎週金曜日にグループごとにテーマを決め、Power Point で発表。「自分の国とイギリスの文化の違い」などの内容で木曜の放課後の時間も使って作成。韓国の学生も一緒だったので韓国の文化も知ることができた。

【トレジャーハンター】 ミッションをクリアしてポイントを多く獲得したグループが勝利。大学周辺の店や教会、博物館などを探り見つけ、クリアしていくゲーム。

【ディスカッション】 スマートフォンについての良い点、悪い点についてそれぞれの意見に分かれてグループで討論した。

(商学科 田上 和樹)



他国の学生の英語力に刺激を受けた！



理由は何であれ、
やった人が経験できる
し上達もする!!!
(ホスピタリティ・マネジメント学科
横手 希美)

二週目のクラス替えにより知らない人の中に放り込まれたので、日本語に甘えるということはなく、難しい単語も先生に聞いて本当に英語漬けの環境だった。

いつも教室に一番乗りで行き、英語力があまりないけど話をしたい・上達したい・日本のことを伝えたいということを先生に聞いてもらい会話をし、朝の時間を独占して楽しく有効活用した。放課後に行われていた CONVERSATION GROUP に参加して最初は相槌だけをうっている自分に気づき、積極的に話をするようにした。いろんな所にチャンスが転がっていてそれをプラスにできるか見逃してしまうのかは自分の考えや意識次第だということを改めて感じる事ができた。



宿舎について

いくつかの棟が一か所に集まる集合住宅のような形でオートロック。

六個の個室につき一つの共同キッチンがあり、トイレ・シャワーは個室の一つずつある。洗濯機は共同で使用し、お金がかかるので何人かでまとめて使うか、手洗いで済ませた。プレストンは生活しやすく、近くに安く食料品や日用雑貨を買えるお店があり、駅やショッピング街も徒歩圏内だ。



Good to bring

- 日本の調味料(醤油・みりん等)
- ごはん(レンジ仕様)
- 箸(料理用・自分用)
- ヒートテック
- 小分けの洗剤
- スリッパ

など
(国際経済学科
後藤 美咲)





このプログラムに参加して得たものは行く前に想像していたよりもたくさんあった。

今までの自分は視野が狭く、それで満足していた。でもある日のクラスメイトの一言がきっかけで考え方が変わった。私が、「英語べらべらだね、凄いな」と言うと、「得意なんじゃなくてとりあえず話そうって努力しているだけだよ」と言われ、私はなんのためにわざわざイギリスまで来たのだらうと思いつくことができたのだ。それからは伝わらないことや間違いを恐れずに発言できるようになり、発言や会話を通して自分の間違いを直すこともでき、通じた時の達成感を味わうことができてとても嬉しかった。生活面でも、食事から洗濯まで全部自分でしなければならない環境の中に身をおき、実家ではどれだけ親に頼っていたのか改めて実感することができた。自分で実際に見たり体験することができて、このプログラムではとても有意義な時間を過ごすことができた。

(ホスピタリティ・マネジメント学科 峯 あこ)

サマープログラムを通して

福祉の先進国であるイギリスで、自分の目で福祉環境や街のバリアフリーなどを見て学びたいと思い参加した。

実際見てみると社会の見えにくい部分のはっきり見え、日本もイギリスも福祉的な面ではまだまだ発展の余地があると感じた。英語を使う生活の中で理解できず不安になったが、先生がわかるように何度も言葉を言い換えたり、ジェスチャーを使ったり笑いかけてくれたことは理解にも繋がり、励みになった。障害を持っている人の多くは健常者の社会で生きており、自分の意見が伝わらず相手の言っている事が理解しにくく、不安や困難を多く抱えている。これらの弊害と言語の違いによる意思疎通の困難を改善する糸口の根本は同じではないかと感じた。今まで知りえなかった事を知り、考えた事のないことに悩み、自分の価値観が変わった濃い内容の3週間だった。

(第一部社会福祉学科 福坂 皐月)

 **Travelling!!!**
休日には小旅行に行くために
場所や電車の時間を調べたり、
計画を立てることが多かったので
今までは面倒臭がって行き当たり
ばったいだったのが計画的に動け
るようになった!
(福祉環境学科 井上 優花
神永 真里)



引率体験レポート

協定校である英国のセントラル・ランカシャー大学に8月9日から19日の日程で20名の学生を引率した。元々は16日に帰国予定であったが、出国直前に航空機のエンジントラブルが発覚し出発が3日遅れ、帰国日を調整し19日に帰国した。延期となった3日間は福岡市内のホテルでの滞在で、いつ飛べるか分からない不安と、旅行社、海外旅行保険会社、参加学生の保護者への連絡で心身ともに疲労困憊ではあったが、無事英国に到着した時にはその苦労も一瞬にして無くなっていた。

英国到着翌日には学生の皆はヨークへの観光旅行が予定されていたため、時差ボケも残ったままの旅行となってしまったが、歴史ある街並みを堪能できたとロクに言っていた。その翌日からは授業も始まり、本学の学生は3グループに分けられ授業を受けていた。最初の週は韓国からの学生グループも居たためクラス内で英語を頻繁に話していたが、2週目以降からは彼らが帰国したため、日本の他大学からの学生達との合同の授業になり、授業中に日本語で相談出来る環境になっていたのが少し残念に感じた。

ただ、キャンパスから一歩外に出ると、プレストンの街自体には観光客はほぼ居らず、生の英語に触れる機会も数多くあり、学生にとっても自分の英語力を磨く良い機会になったと思う。出だして飛行機のトラブルによって躓いてしまったが、福岡空港に迎えに行った際にまだ帰りたく無かったという言葉聞いた時には私自身も満足感に似た感情を抱いたサマープログラムとなった。(国際教育課 大澤 孝)



引率体験 Reporter

Takashi Osawa



全国外国人による弁論大会に参加して — 臯月、全国に立つ —

社会福祉学部 福祉環境学科 3年 **オウ 王**

ワラベ
童

私は、大学 1 年次に学内で行われた留学生弁論大会で『日本人と弁当—明日への活力、コミュニケーションの形』というテーマで優勝しました。そして、今年はそれをきっかけに全国で力試しをしたいと思い、『第 55 回外国人による日本語弁論大会』（主催：国際交流基金他、後援：NHK 他、会場：松江市）に応募しました。今回の弁論のテーマは、『私のはてな、日本語のおへそ—オノマトペ—』に決めました。応募に当たり、白川の河川敷で風に揺れる野花を背景にスピーチをビデオに撮影しながら、目に見えないライバルたちを意識し、妥協しようとするもう 1 人の弱い自分と闘いつづけ、何度も撮り直しました。その甲斐あって、審査通過の電話が来たときには、天にも昇る思いでした。

本番の NHK の全国放送を想定して、高橋守雄記念ホールを借り予行練習を行いました。集まってもらった「日本語教育」を履修している学生の皆さんの前で度胸試しをさせていただきました。話すスピードが速い、発音がはっきりしない等、多くのダメ出しをして頂きましたが、大変有難く思いました。

来日前、私は中国で舞踊のダンサーだったので人前に立つのは慣れており、またそれなりに日本語が話せると自負していたため、全国の弁論大会でも心の中ではある程度の自信がありました。しかし、大会前日の交流会では、22 カ国・地域から予選を勝ち抜いた 10 カ国 12 名の出場者が集まり、彼らの流暢な日本語を聞いて私の自信は脆くも崩れ去り、自分が井の中の蛙であったことに気付かされました。その後も緊張のせいか、出された夕食もろくに

喉を通らず、参加者との会話にもただ相槌を打つだけでした。

大会当日の朝、早々と目が覚め気持ちを切り替えて、ホテルの側の宍道湖から吹いてくる 5 月の風を感じながら一人で黙々とスピーチの練習をしました。いよいよ大会がはじまり、実際は緊張のあまり他の出場者の演説もあまり耳に入らず、心がパンクしそうでした。練習では話すスピードが速いと指摘されてきましたが、いざ本番では制限時間の 6 分が途方もなく長く感じられ焦ってしまいました。結果は、残念ながら賞を得られず、悔しくて心で泣きました。でも、大会後出場者たちの内面に触れる心の余裕が生まれ、こうして世界中の「日本語を学ぶ同志」に出会えて、自分は何と幸せな機会に恵まれたのかと感謝の気持ちでいっぱいになりました。

振り返ってみれば、一念発起して全国弁論大会に応募したこと、夢にまで自分がスピーチの練習をする姿が現れたこと、中国にいる親に残念な報告をした時の歯痒かった気持ち等、今は全ての思いが一生の自分の財産になったと思います。そして、今回恐れずに挑戦することの大切さを学んだことは、これから自分の成長に役立つものだと考えています。

頑張ったら、大丈夫だよ！

ジョン エスパーザ
John Esparza

[2013年9月～2014年8月

アメリカ・インカーネットワード大学からの交換留学生]

日本に初めて行った時、僕は日本語を全然分からなかった。大学生活は本当に大変だったので、僕はちょっと悲しくなった。言葉や文法や漢字、全てが難しかった。授業中、全て分からなくて、日本語を話せなかった。時々泣いた。でも、頑張ると決めた。毎日、勉強した。そして、合気道部と水泳部に入った。サークルの人達は英語を話せないから、最初は難しかったけど、易くなった。僕は日本語を話せなかったけど、みんなはまだ優しく、思いやりがあった。どこでも日本語を聞いていたから、早く上達した。春休み、僕は部屋でいつも勉強していた。サークルの人と日本人の友達と話せて、日本語を書けて、読めるようになった。本当に嬉しくなった。いつか日本

にまた行きたいので、今も日本語をまだ勉強している。友達とせめてもう一度会いたい。頑張ります！



夏祭り、楽しかった！

日本語の勉強：独学、大学、留学

ダニエール フルーリ
Danielle Fleury

[2013年9月～2014年8月

カナダ・セントメアリーズ大学からの交換留学生]

高校生のころ、日本の音楽のことを知るようになって、歌詞を理解するために日本語を勉強し始めました。6年

間ぐらい独学で勉強して、セントメアリーズ大学に入学して、大学で勉強することにしました。学習歴が長いから、日本語の勉強の難しいところと面白いところをたくさん経験できて、いい思い出をたくさん作りました。

難しいところといえば、独学だったら、忍耐力が不可欠なことです。しかし、学校や仕事や遊びもあるため、忍耐力をつけるのは難しくなります。熊本から帰国して、今もそういう状態です。日本語能力を保つためには頑張るしかありません。

もちろん、面白いところもあります。言語を勉強するにあたって、異文化交流機会があります。例えば、日本語を勉強するだけでなく、日本人と交流して日本の文化について学ぶことができます。もう一つの面白いところは、あの「やっとできた」感じです。英語の字幕のない日本のテレビ番組を見て、「あら、全部分かった！」と気づくのはすごくいい感じです。

この感じも、学園大で過ごした時間も、すごくいい思い出になりました。日本語の勉強を通じて、親友ができて、いい経験が次々にありました。熊本コンソーシアムのイベントや弁論大会や火の国祭りに参加したのは一生忘れないぐらいいいエピソードでした。



夏祭りの楽しみ



日本語を学ぶ理由

マーク ドラグウィッジ
Mark Dragwidge

【2013年9月～2014年8月

オーストラリア・ラトロープ大学からの交換留学生】



交換留学生の卒業式（筆者は右）

今までの日本語の勉強は全体的にとっても楽しくて、非常にやりがいのある経験でした。特に熊本で留学を実現できたことは日本語能力を向上させることに役立ちました。日本人だけではなく、様々な国の人と一生涯の友達になりました。外国語学習の前途は楽しいところが多くありますが、困難にも直面します。

日本語を勉強して難しく感じるところは自分の勉強に対する意欲が時折なくなるところです。ずっと教科書で勉強するのが大変だと感じたり、全く使用しない文法や語彙を記憶したりすることが無意味だと感じたとき、これ以上頑張りたくないと思う時もあります。でもそういう時はなぜ日本語を勉強するのかを再認識して自分のモチベーションを保ちます。日本語を学び始めたとき、私は以下の言葉に心を打たれました。

ある偉人の名言に、

「相手の知っている言葉で話しかければ、それは相手の頭に届く。相手の持っている言葉で話しかければ、それは相手の心に届く。」

というものがああります。私はこの名言を読んで、言語の違いは人々の関係を引き裂くものであると同時に、言語はお互いの心を繋げるものでもあると思いました。

人間関係における心の根底にある気持ちを理解するために相手の言葉で話しかけなければなりません。現在もまだ日本語を話せる外国人が少ないままです。だから自分自身が日本語を向上させ、言語の違いによる誤解を解き、日本と英語圏を繋げるような人になりたいです。

言語の学習は言葉よりも、異文化を学ぶ過程

ナヤマイ ラッキヤットウォン
Nayamai Rukkiatwong

【2013年9月～2014年8月

タイ・チュラロンコーン大学からの交換留学生】

初級から中級までの日本語学習者にとっては、自分が飛躍的に伸びていくのを実感できるのは驚くほどではない。ところが、ある程度勉強を続けていくと、色々な壁にぶつかり、行き詰まってしまうと感じる人が少なくはないと思う。私はこの何年間日本語、英語、そして中国語を同時に勉強していたが、英語と中国語は学べば学ぶほど、いっそう簡単になると感じられたが、なぜか日本語は逆に学べば学ぶほど複雑になった。

私は以前、日本語自体が難しいと思っていた。しかし、留学していた際、その難しいところは言語自体というより、むしろ言語に隠れている日本人のものの見方だと思うようになった。従って、日本人の考えを知るために日本語を勉強する代わりに、時々日本語が分かるように日本人の考え方を理解するということになってしまう。日

本人は相手の気持ちを傷つけないように、よく遠まわしな言い方を使っているが、それは外国人にとって曖昧だと思う。

このような日本人の考え方が分からなければ、その文章の意味が分かりづらい。日本語を上達するには、言葉を学びながら、自分を多くの日本人と日本文化に触れさせることが大切だと思う。



熊本出身の有名人との出会い

日本語の世界への旅立ち

ソ プン イ
蘇 文 怡

[2013年4月～2014年3月]

中国・北京第二外国語学院からの交換留学生]

初めて日本語の五十音図を見た途端、さすが漫画の国、文字さえ絵のようにになっているという言葉が目には浮かびました。日本語を学び始めて一ヶ月ぐらい過ぎて、ようやく平仮名と片仮名を書けるようになりました。

しかし、日本語の広い世界に旅立ったばかりの私は、これから山あり谷ありの冒険になるとは知りませんでした。基礎日本語の教材には、「油断大敵」などの熟語が出ていますが、意味などあまり気にしませんでした。日本語の漢字は中国語の繁体字にすぎないので見たら分かるはずだと思いましたが、留学の時、他人に案内してもらった時地名が正しく読めなくて結局行き違えたり、映画の主演者たちの名前がうまく言えなくて友達に面白いネタを説明できなくなったり、今思えば笑い話ばかりでしたが当時は大変でした。実体験で熟語の意味を覚えるのは悪くありませんが、最初から漢字の知識をきちんと

身につければ、遠回りはしないではないでしょうか。

日本語学科の学生として、日本語の世界をめぐる旅はまだ続きます。これからも外国語の学習はコロンブスの卵だと覚悟するだけでなく、砂上の楼閣にならないために努力したいと思います。



2013年8月17日大阪城前にて。
大阪弁は分かりませんが、大阪城の美しさは通じました ^^

日本語難しいところ・面白いところ

ジョ イク プン
徐 郁 雯

[2013年9月～2014年8月]

台湾・崑山科技大學からの交換留学生]

日本語の尊敬語、謙譲語は私にとっては、とても難しいことです。なぜなら、自分より目上の方と話す際には、尊敬語を使わなければならないからです。たとえば、「召し上がってください」、「先生は日本にいらっしゃいます」などです。一方、謙譲語は自分やこちら側の者の立場を下げる際に使います。たとえば、「いただきます」、「私は日本におります」などです。私は尊敬語と謙譲語をまだ上手く使うことができません。しかし、日本語をもっと上手になりたければ、尊敬語と謙譲語を使うことが大事だと思います。上手になるために、私は一生懸命頑張ります。

面白いところは、日本語の漢字と中国語の漢字は全く同じ意味ではありません。

たとえば、「勉強する」の「勉強」には、中国語の意

味は「強制する」という意味です。さらに、「歩む」の「歩」は、中国の意味は「走る」の意味です。反して、「走る」の中国語の意味は「歩む」です。いつも日本語を勉強するとき、中国語と意味が違う言葉を知ることができ面白いと思います。

日本語を勉強するために、よく日本人の友達や先生と話したり、本や映画を見るなど、生活の中で多くの日本語を勉強する機会があります。日本語を勉強することを一緒に頑張りましょう！



留学生の皆さんと阿蘇山に旅行しました。
めっちゃ楽しかった（筆者は前列右から2番目）



友達が教えてくれたこと

外国語学部 英米学科5年 ^{さくらぎ} 櫻木 かおり

[2013年9月～2014年7月]

アメリカ・インカーネットワード大学へ交換留学]

私が英語を勉強していて面白いと思うときは、外国人の友達とおしゃべりをしているときや、自分が知らなかった新しいことを学んだときです。特に私がアメリカで留学をしていた時は、毎日が新しい発見の連続でした。初めて耳にする単語やアクセント、スペイン語やサウジアラビアのなまりが入った英語などは初めのころは聞きなれなく難しかったです。友達と仲良くなるにつれてどんどん分かるようになりました。また、日本にはないサンクスギビングなどの祝日の時は、友達が家に招待してくれて、一緒に伝統的なお祝いごとの料理を作って食べたりもしました。また、アメリカでは学校が主催するイベントがとても多く、ボランティアのためのイベントや、ホームカミング、パーティーでも、多くの人と協力をしていくことによって、とてもいい友達を作ることができました。

ですが、もちろん中には上手くいかない日もありました。特に友達とけんかをしてしまった時などは、どれほど自分に英語力がないかを痛感しました。日本では思っていることを口に出すことや、怒っているや、悲しいなどの感情を表すことはあまりなかったもので、相手に自分の気持ちを表現するのにとても苦勞をしたし、また、それを英語という違う国の言葉で伝えるのは、とても難しかったです。あまり良いことではないと思いますが、友達とケンカをするたびに英語が上達していったように思います。

留学を通してできたいろいろな経験は、私にとってとても大切な思い出です。



フリスビーをして走り回った後 みんな汗だくです (筆者は左から2番目)

言語を学ぶ魅力について

経済学部 国際経済学科5年 ^{まつくまゆか} 松隈由佳

[2013年8月～2014年4月]

カナダ・セントメアリーズ大学へ交換留学]

私はカナダに八ヶ月間、本学の交換留学生として派遣させていただきました。留学していたことを人に言うと、必ず「じゃあペラペラ？」という質問をされます。答えは、ノーです。ペラペラという基準がどこにあるかは分かりませんが、半年強という期間の留学で、ペラペラというものになるのは不可能だと私は思っています。仮に、三年間いることが出来たとしても無理だと思っています。これは決してどれだけ頑張っても語学は上達しない、というわけではありません。言語を学んでいると、学んでいくレベルに応じて、思うことがたくさんあります。私が今思うことを留学する前の私に言ったところで、そのときの私は納得出来ないだろうし、また、一年後の私に私が今思っていることを言ったら、なんだそんなこと、と馬鹿にするかもしれません。語学には、終わりが無いのです。それが語学を学ぶ面白さとも言えます。

現地で英語を使いながら、私が難しいと感じたことは、あまりにも多くて具体例を思い出すことが出来ません。簡単

な例を挙げれば、否定疑問文の答え方です。例えば、「あなたはジョンを殺してないよね？」と尋ねられたときに、イエスと答えてしまうと、英語では殺したことになります。日本語だと、疑問文が否定形だったら、答えはイエスとノーが逆になりますが、英語だと変わりません。なので、もし、現地で恋人が出来て、“Don't you love me?”と聞かれ、悲しそうにノーと言ってしまってお別れすることになるでしょう。これは頭で分かっているのに時間がかかりました。

最初の話に戻りますが、言語を勉強するにあたり、常に過去の自分を馬鹿に出来る自分でいたいと思っと思っています。馬鹿にできるということは、成長しているということですから。



クラスメート、先生と語学学校にて

伝えること。学ぶこと。

経済学部 リーガルエコノミクス学科4年 りゅう
龍 とし
利 あき
晃

[2014年2月～2014年6月]

オーストラリア・ラトロープ大学へ交換留学]

私は2014年の2月から7月までオーストラリアのメルボルン郊外にある、ラトロープ大学に留学していました。海外経験が全くなかった自分にとって、今回の短期留学はとて実りのある素晴らしいものになりました。オーストラリアはいろんな国の人たちから成り立っている共同体なので外国語を学ぶのはもちろん、様々な国の文化や思想、宗教まで学ぶことが出来たように感じています。国内ではなく、国外で英語を使うのは初めてだったので改めて実感したことがたくさんありました。

何より感じたのは伝えることの難しさでした。聞き取って理解することはできても、いざ自分の言葉で伝えようとすると若干の時制のずれなどが気になって言葉にならなかったり、あとは純粋に頭に浮かんだ日本語を英語に変換できなかったりと、自身の力量のなさを痛感しました。

また、オーストラリアは訛りが酷く、ホストファミリーの英語を聞き取るのに最初はとても苦労したのも事実です。出身国の違いによって英語の発音も違って、これまた慣れるのに苦労しました。

しかし、もちろん交流を深めていくなかで自身の語彙力、会話力は確実に成長したと思います。毎日英語のなかに身を置くことで最初は聞き取れなかったものも徐々に聞き取れるようになったり、ある程度の速度で会話ができるようになったりと留学したからこそ習得できたことも多々ありました。そのおかげで海外のドラマや映画などが以前にも増して楽しみになりました。

それだけでなく歴史や文化、宗教などについても図書館で文献を読んで様々な解釈の仕方があることなどがわかって勉強になったのと同時に、自分のなかでは楽しみに繋がったこともあります。

外国語を学ぶことは容易なことではないと思います。しかし、学習に学習を重ねることで学ぶことの意義、学ぶことの楽しさを感じることが出来るものだと、僕は思っています。



ミュージアムにてクラスメイトたちと
(筆者は後列左から2番目)

それなりにやっています

経済学部 国際経済学科4年 こ
小 ひら
平 ち
千 あき
秋

[2014年2月～2015年1月]

ベトナム・ベトナム国家大学ハノイ校へ交換留学]



友人との旅行写真 (筆者は左から3番目)

親に泣きついたことがある。「やっぱり語学は向かないんだ」と。親には「何をいさら」と笑われた。

一人でうろろろするのが好きである。口下手で、あまり話さ

ない。積極的でもないから自分から話しかけることもしない。母語で、それなのだから外国語だとそれ以上に口は重くなる。話すことが基本の語学で『向く』か『不向き』かだったら、確実に『不向き』だった。でも、「だから何なんだ」と思うようになった。62歳でベトナム語を学び始めた元大学教授がいる。彼は耳が遠いから聞き取るのは私よりも困難で勿論、覚えだつて遅い。たった5ヶ月でベトナム語を日常的に使えるようになった女の子がいる。彼女の発音はとてもきれいらしい。1年間で日本語をマスターしたベトナム人大学生がいる。彼は演歌を熱唱出来る。4年ほど勉強しても片言で日本語を話す高校生がいる。彼女は会話の間に長い溜めを必要とする。要は、自分の学習スピードがあるだけだった。自分は歩みが遅いから、モチベーションが上がらない。だからもっとやる気を失くす。残念なことにそれでも、『話したい』と思うから始末に負えない。でも、おかげでそれなりに友達も出来て楽しく過ごしている。あと3ヶ月でどこまでいけるのか、したいことをし尽くして結果を待とうと思う。



生涯学びたい韓国語

商学部 第一部経営学科4年 **ふじ た みな と**
藤 田 皆 人

【2013年3月～2014年2月 韓国・大田大学校へ交換留学】

2013年3月からの約1年間、私は韓国・大田大学校で学びました。そして帰国直前の韓国語能力試験では、目標であった5級に合格することが出来ました。

留学生生活を通して国籍を問わずに多くの人と出会い、友人になりました。相手が日本語を解せなくても、私が韓国語を話せることによって深いコミュニケーションを取ることが出来、親しくなれました。外国語を学ぶことの面白さの醍醐味はここにあると思います。外国語を介在することによって、新たに人と繋がれるということは楽しくて素晴らしいことです。今でも韓国人の友人や一緒にの寮で生活を共にした中国やカザフスタンの友人たちと韓国語で連絡のやりとりをしています。

しかし、日本に帰って来て韓国語を使う機会が減ると、猛烈なスピードで言葉を忘れていっているように感じます。言葉を蓄積してきた何倍ものスピードで頭から抜け落ちていっているようです。外国語は継続して勉強しなければ

ならないと痛感していますが、必要に迫られないとなかなか勉強する気にはなりません。留学中は韓国語を理解出来ないと生きていけなかったといっても過言ではありません。講義を受けるのも、ご飯を注文するのも、携帯を契約するのも、タクシーで行先を告げるのも全て韓国語で行わなければならなかったのです。

今後は韓国人の留学生と交流したり、韓国にいる友人と連絡したり、韓国旅行したりと自らを追い込む状況を作り、忘れていった言葉を取り戻し、更に成長したいです。



寮でクラスのみならず（筆者は後列右）

外国語を学んで感じたこと

外国語学部 東アジア学科4年 **やま ひら ち あき**
山 平 千 晶

【2013年3月～2014年2月 中国・北京語言大学へ交換留学】

外国語を学んで感じたことは日本で学んでいた時と、留学先で学んでいた時とでは少し異なる事がありました。私の場合、学んでいるのは中国語です。大学に入って初めて中国語を学びました。日本で学んでいるときは、「基礎を覚え理解する」ということが何よりも楽しく、それがまた更に意欲を駆り立てていました。留学先では大学の友人たちや現地の人たちも含め「元々言葉が通じない人達と中国語で意思疎通できる」ということが、非常に不思議な感覚でもあり嬉しい瞬間でもありました。私が通った中国の大学は留学生が多い学校で、様々な国の人達と交流できました。クラスの友人と食事や買い物に出かけたり、時には教室でいたずらをしたり、授業では討論会をしたり、プレゼンテーションをしたり、些細なことから授業の少し難しい話題まで、通じ合うのが楽しくもあり魅力的でした。もちろん外国語を学ぶ上で苦戦することも多くあります。例え

ば、同じ意味の言葉でもニュアンスが違う時があります。理解するのは簡単です。難しいのはそれを使うことでした。そういった苦戦を乗り越えることで、通じ合える幅が広がります。苦戦から乗り越えた時がより一層嬉しく楽しいのです。また、伝えようと努力していると相手も理解しようと努力してくれます。そういう気持ちもまた嬉しく、モチベーションにも繋がりました。私は、外国語を学ぶ上で、様々な人達と出会い通じ合うことができ、幸せです。これからも一生語学に励もうと思っています。



クラスでお茶館に行き、京劇や影絵を観た時の写真（筆者は後列左から4番目）



私の TOEIC 学習プラン

外国語学部 英米学科 4年 **原 田 結 佳**

[2012年9月～2013年4月]

カナダ・セントメアリーズ大学へ交換留学]

初めの受験のきっかけは、まずは英米学科のクラス分けの際に受験したことです。それまでは TOEIC というものを、聞いたことはありましたがどういった内容であるかは全く知りませんでした。初めて、学校で団体受験をした際に自分の英語力がまだまだであることを知り、また就活で役立てるためにはまだまだ点数が足りないと思い、いつか点数を伸ばしたいと考えていました。その後留学をしたかったため、TOEFL へと目が向き TOEIC の勉強はあまりしていませんでした。留学から帰り、自分の英語力改善の成果を見るために受験をしたのが直近でのきっかけです。

とりあえずの目標は 700 点を超えることでした。勉強の期間は約 1 か月を設けました。私は一日の学習時間の細かい設定は行っておらず、一日ここまですると決めた部分までやる。というやり方で取り組みました。したがって、時間に余裕があるときにじっくりと勉強をしました。実際、アルバイトをしていたため、毎日確実に学習時間を確保できていたわけではありませんでした。そのような日は、長い時間勉強することを考えずに、少ない時間でもトレーニングできる短文穴埋めやリスニング問題を 10 問程度、集中して取り組みました。実際 1 か月設けた学習期間も、私は最後の 2 週間でラストスパートをかけていました。ツールとして利用したのは図書館で借りた TOEIC の参考書です。2・3 冊借りて自分に合う参考書を選びました。私の場合、逆算型のテキストをよく利用していました。勉強の手順として、リスニングや短文穴埋めの部分など、ポイントをつかみやすい部分や、少し改善するだけで伸ばせる部分から取り組みました。小さいミス無くすということをやまず目標に勉強しました。モチベーションの維持ということはあまり考えていませんでした。しかし、解き方のコツをマスターし、練習問題で成果が見えたときはモチベーションの維持に繋がっていたと思います。

最終的に 590 点→720 点→770 点とスコアが伸びました。次は 800 点を超えることを目標としています。最終的には外資系の会社で働くために必要最低限である 830 点以上を取得できるように頑張りたいと思います。

使用したテキスト



目標は高く、成果は目で見える

外国語学部 英米学科 5年 **前 川 彩 乃**

[2012年8月～2013年5月]

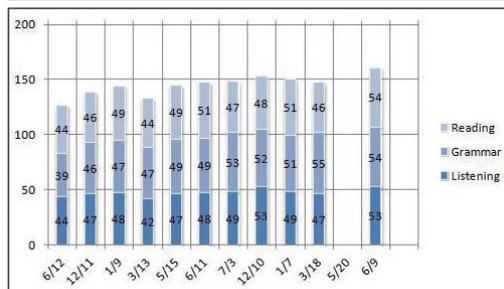
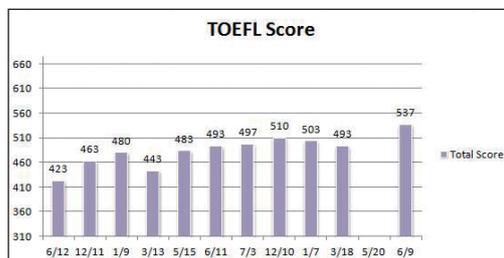
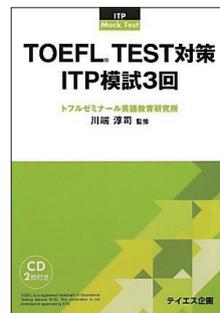
アメリカ・モンタナ州立大学へ交換留学]

私が TOEFL を受験したのは、学内の留学試験を受けようと思ったことがきっかけです。アメリカのモンタナ州立大学へ交換留学をしたいと思い、TOEFL を受験し始めました。留学先では語学学校ではなく学部授業を受講したかったので、まずは学部授業を受講するために設定されたスコアを達成しようと TOEFL 受験を繰り返しました。

学部授業を受けるのに必要な TOEFL スコアは 500 点でしたが、仮に 500 点を取って学部授業を受講しても、実際に授業についていくのはとても大変だと聞いていました。それを踏まえ、敢えて目標スコアを TOEFL スコアの 550 点と高く設定し、できるだけ高いスコアを取ろうと励みました。550 点は私には達成の難しいスコアでしたが、より勉強に力が入り、結果として 537 点という自分の中では非常に満足いく点数を取ることができました。留学が決まった 2 学年の 9 月から出発直前の 6 月までの 9 ヶ月間、学内と学外で実施される TOEFL テストはほぼ毎回受験しました。受験に向けては、授業の課題と並行して勉強を進められるように、TOEFL の勉強をする日と時間をその都度決めて取り組みました。勉強に際しては、TOEFL 問題集を購入し、設定された時間を計って問題を解いていました。問題集は TOEFL ITP テストの模試が 3 回分入っているものを使っていました。その他にも、リスニングとリーディングのスコアが伸び悩んでいたため、リスニング、リーディング専用の個別の問題集も使って勉強しました。一冊買って何度も繰り返し解くだけでも理解度が高まり、語彙や文法も定着してきます。

TOEFL を初めて受験した 1 学年次のスコアから留学直前の夏までに受けた TOEFL のスコアは、グラフにして管理しました。テスト全体のスコアとは別に、リスニング・文法・リーディングという 3 つのセクションごとにも点数グラフを作り、前回の受験からどのセクションの点数がどれくらい伸びたか、または下がったか分析できるようにしました。グラフにして可視化することで、伸び悩んでいるセクションに重点を置いて勉強することができ、また、点数が上がった時は自分の自信にもなります。

帰国後はまだ一度も TOEFL を受験していませんが、時間を確保してきちんと勉強し直し、まずは 580 点を目標して勉強します。勉強を積み重ね、ゆくゆくは 600 点を超えるスコアを取得したいと思っています。





H S K 6 級取得に向けて

外国語学部 東アジア学科3年 **もり た ま き ゆ き**
森 田 昌 幸

[2013年3月～2014年2月 中国・深圳大学へ交換留学]

留学期間中にH S Kの5級を取り、帰国後の目標としてH S K 6級の取得を掲げました。留学中に会った私が尊敬する先輩が大学二年時にH S K 6級を取得していたため、自分も合格することができれば、その先輩に少しでも近づけるかもしれないと思ったことが動機です。

勉強方法について、まず最初に行ったのはスマホのアプリの「H S K 単語帳」を用いて6級相当の単語を黙々と覚えていきました。まずは単語、そして例文を読み、更に電子辞書を調べてその他の例文をノートに書いていき文法事項・用法を覚え最初の例文を暗唱できるまで読み続けました。それを二か月程ひたすらと続け、新H S K 6級の青色の教本を用いて実践演習を繰り返しました。日曜日に一回分の問題を解き、月曜～金曜に復習（主にわからなかった単語の意味調べとノートへのまとめ）を行いました。残り的一か月程は中国で購入した教科書をひたすら進めていきました。リスニングの対策では教本に付属していたH S Kのリスニング問題をipodに移し、移動時間などの隙間時間に聞いていただけでしたが、それだけでも十分な対策になりました。H S K対策というわけではありませんでしたが留学中に購入した中国映画のDVDを見ていましたがそれも対策として役に立ったと思います。

モチベーションの維持の方法は、答えとして適切かどうかはわかりませんが、実際に自分の中国語能力が向上していくのを実感できたことが何よりの方法でした。語彙力の上昇やリスニング能力の向上が特に実感できたのが嬉しかったです。特に趣味で見っていた中国映画が中国語の字幕なしでも意味を聞き取れるようになったことが何よりも嬉しかったです。そのDVDには中国語の字幕だけでなく、英語字幕もついているので最近では音声は中国語、字幕は英語という形で映画鑑賞を始めています。

次の目標としては、今回のスコアが186だったので、次は210を目標としています。他にも自分はまだ中検の資格を持っていませんので2級の資格取得を目標としようと思います。できれば在学中に中検準1級の取得ができれば良いのですが、就職活動も始まるのでまずは2級の取得のみを目標としています。



TOPIK へ向けての私の勉強法

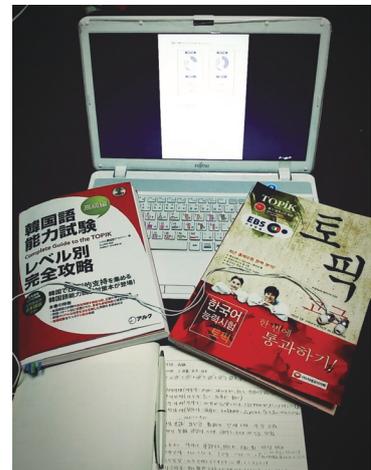
商学部 経営学科4年 **たか もと し ほ**
高 本 詩 帆

[2013年3月～2014年2月 韓国・大田大学校へ交換留学]

私が韓国語の勉強を本格的に始めたのは大学生になってからです。私が在籍する経営学科は第二外国語を専攻することが決められているため大学1年生の頃から韓国人教員による韓国語の授業が受けられました。韓国への留学は大学1年生の頃から考えていたこともあり、韓国語を勉強するモチベーションも高まるためTOPIKは積極的に受験しました。最初に初級を受験するときは、週2回程の授業だけでは実力が足りなかったため参考書を買って自分で勉強して受験しました。日本にいる間に初級2級を取得することが出来ました。中級からは韓国に留学して初めて受験しました。日本ではTOPIKは年に2回しかありませんが、韓国では年に4回もあるため何度も受験することによって自分の実力を確認することができました。私が留学していた頃は今と違い初級・中級・高級で分かれていたため、最初は中級4級合格を目標に勉強しました。当時はまだ基本的なことしか勉強していなかったため、中級の問題を解いた時は初級と中級のレベルの違いに驚きました。一人ではとうてい勉強出来ないと思い、試験が近づくと一緒に中級を受験する友達と時間を決めて図書館やカフェで毎日勉強したり、韓国人の友達に作文の添削をお願いしたり、分からない部分の解説をしてもらったりしました。また、韓国の大田大学には北海道の学生達も交換留学として行き、熊本の学生達と共に留学生活を送ります。特に北海道商科大の学生達は全員TOPIK高級を取得した上でやって来るため韓国語のレベルが高いです。そのため、色々勉強法を聞いて参考にしました。実際に私がやってみた勉強法は、知らなかったりよく間違えたりする単語や文法、ことわざ、四字熟語などを持ち運びやすい小さな単語帳にまとめて授業の空き時間や寝る前などに少しだけでも目を通すことです。繰り返し見ることで頭にインプットされます。また、過去問を解くことです。過去問を解くことで試験の傾向が分かってくるし、単語や文法を文章と一緒に覚えることで頭にインプットされやすくなると思います。「かじりたてのハングル」というサイトに筆記からリスニングまで全て過去問が掲載されているため、パソコンでそのサイトを見ながら繰り返し解きました。高級は中級よりも更に難しいため、過去問のリスニングに加えて友達に教えてもらった韓国のニュースを見ることも実践しました。ニュースの言い回しがリスニングと似ているため参考になりました。また筆記はなるべく韓国人の先生に添削してもらおうようにして高級にふさわしい文章を作れるよう努力しました。

今の目標は次回の韓国語能力試験で6級に高得点で合格すること、よりネイティブな韓国語会話を身に付けることです。

みなさんも自分に合った勉強法を見つけ、日々実力の向上に努めてみてはいかがでしょうか。



私の TOPIK 対策ツール



交換教員による教職員向け韓国語会話講座にて

～蔡聖山先生と受講生との談話～

大田大学校 **チェ** **ソン** **サン**
蔡 **聖** **山**

【2014年3月～2015年2月 韓国・交換教員】

森さん：蔡聖山先生が日本に来るきっかけになったことは何ですか？
蔡先生：以前何度か日本を旅行したことがあって、日本に興味を持っていましたし、1年間日本に滞在することは自分にとってチャンスだと思い、交換教員に申し込みました。ちょうど福島原発事故の問題があった時期で、申込んだ人は自分の他にはいませんでした。私は問題ないだろうと考えて、「私は行きたいです!」ということで日本にやってきました。学園大の皆さんに出会えたことを嬉しく思います。

宮ノ畑さん：蔡先生のご専門は統計学だとお聞きしていますが、本学では韓国語教育を担当されていますね。韓国語を教えていて面白いところと難しいところはありますか？
蔡先生：このクラスで韓国語を教えるのは良いですが、学生に教えるのは難しく感じます。私は日本語ができませんから。でも私は韓国語を教えることを楽しんでます。
森さん：韓国語教育と統計学の共通点はありますか？
蔡先生：全くありません。統計学は数学的思考に基づいています。

神田さん：私たちにとって蔡先生の英語での韓国語授業は面白いのです。韓国語を学びながら、英会話の練習にもなりますし、私たちはラッキーだと思います。蔡先生の英語はどこで学ばれたんですか？

蔡先生：以前、アメリカの大学院で学んだ時に4年間、そこで覚えました。また7、8年前にもアメリカに滞在していた時期があります。韓国に戻ってからはほとんど使う機会がなく、忘れてしまいました。

宮ノ畑さん：大田大学校でも英語を使う機会はないのですか？
蔡先生：大田でも使うことはほとんどないですね。

森さん：蔡先生は、英語以外では他の言語を学ばれたことがありますか？

蔡先生：実は大学生のときに日本語を少し学んでいたのですが、アメリカに行きたくて英語の勉強に集中してしまって、日本語を忘れてしまいました。

森さん：熊本で印象に残ったことはありますか？

蔡先生：最初に日本に旅行で来たときに大阪に行って、大阪城を見ました。そして、今回熊本に来て熊本城を見て、二つのお城が全然違ってすごく印象的でした。日本のお城は建築様式が韓国にもよく似ていると感じます。それから、熊本の夏は暑かったです。湿気のせいでしょうか。クーラーがないと生きていけませんね。そして冬は寒い。熊本に来たばかりのころ、リモコンのボタン表記が分からず、温度の調節ができなかったので大変でした。

神田さん：熊本の人についてはどう思いますか？

蔡先生：みんな素晴らしいです。私のことを責めないし、心がとても広いと思いました。また、これは日本人に言えることだと思いますが、人が親切ですね。例えば道を尋ねれば、ほぼ全ての人親切に教えてくれます。あるときは目的地まで私を連れて行ってくれました。韓国ではこのような光景は見ることがありません。



蔡聖山先生と受講生

蔡先生：ところで皆さんは、どうして韓国語を学んでいますか？きっかけは何かありますか？

神田さん：韓国ドラマが大好きで韓国語を学びたいと思いました。

蔡先生：本当にいい学生ですね(笑) そういえばK-POPダンスだったか近タイイベントが行われますね。私も最近はK-POPにトライして聞くようにしています。

森さん：蔡先生は何かパフォーマンスをしますか？歌やダンスなどは？

蔡先生：Noooo.私は無理です。

森さん：歌なら彼女(神田さん)が歌えますよ。

蔡先生：楽譜を持ってきて！一緒に歌いましょう！

<蔡先生と神田さん 熱唱>

蔡先生：拍手～。この歌は、以前みんなで勉強しましたね。「カンファム ヨンガ」。

恋人の歌で韓国では有名な歌ですね。

神田さん：この講座で読み方や意味を教わって歌えるようになりました。



蔡先生：橋本先生は韓国語を始めたきっかけは何ですか？

橋本先生：私は昨年いらしていた金應洙(キムウンス)先生と何度かテニスを一緒にして、それから金先生に誘われてこの教職員講座を受講し韓国語の勉強を始めました。

蔡先生：そうでしたか。金應洙先生はテニスをおやりになるんですね。金先生は日本語がお得意になりました。来年は、関内勲先生がいらっしゃいますね。関先生は日本語が専門です。

皆さんも引き続き韓国語の勉強を続けてください。



宮ノ畑さん：蔡先生は2月にご帰国と聞いていますが、韓国に戻られてからのご予定は？

蔡先生：韓国は日本と違って、3月から学校が始まります。しかも、私はこの一年間、自分の専門から離れていたため、遅れを取り戻さなくてはなりません。授業の準備もありますし、忙しくなりそうです。

神田さん：韓国の学生はどんな学生ですか？

蔡先生：日本人学生とほとんど変わらないように思います。人によって違いますね。私の統計学の学生はひとクラスだいたい30人くらいですが、学生はとても積極的で、授業中によく発言してくれます。私たち教授の間違いも授業中に指摘してくれることもあります。

神田さん：アクティブな学生が多いんですね。

橋本先生：2月帰国されるときはきっと韓国は寒いでしょうね。蔡先生：はいとても寒いですがね。雪も降りますし、10cmほど積もることもあります。3月まで寒いです。

森さん：蔡先生は熊本で遣り残したことはありますか？行きたいところなどは？

蔡先生：遣り残したことは特になのですが、最後に天草に行きたいです。天草にある大聖堂に行ってみたいですね。韓国語でソンドンといいます。韓国の友人が何人かそこに行ったことがあって、話を聞いています。

みなさん：行けるといいですね。(天草への行き方を説明)

みなさん：最後に、熊本学園大学にメッセージをお願いします。韓国に来る機会があれば私に連絡してください。みなさん、是非、大田大学校に遊びにきてください!



大田大学交換教員として経験したこと

経済学部教授 **さかい 境**

あきら 章

【2013年9月～2014年2月の半年間 交換教員として韓国・大田大学校へ派遣】

平成25年8月29日から26年2月28日までの6ヶ月間、韓国大田大学校に交換教員として在籍した。同大学の日語日文学科に所属し、高級日本語会話を担当した。講義は週3コマで、火曜日1コマ、金曜日2コマであった。受講生19名の少人数クラスであったが、多くの学生は非常に高い日本語会話能力を持っていたので、日本人と話すかのように会話できた。彼らは2年間程度で日本語会話を修得したとか、子供の頃にテレビアニメを見て自然と覚えた、というから驚きである。日本語会話がやや難しかった学生は僅か1～2名であった。日本語教育が専門でない私にとって、日本語を教えることは難しかったが、ビデオコンテンツなどを使用して日本の文化や習慣を紹介しながら授業を進めたので、学生たちは楽しく日本語会話を学べたのではないと思う。

日語日文学科では、陸先生や関先生にお世話になった。特に陸先生のゼミ学生が取り組んでいた、「深い河」(遠藤周作著)の翻訳作業を約3ヶ月間に亘りお手伝いすることができたことは良い経験だった。週一回の読み合わせ会で漢字の読みや意味を確認しながら作者が言わんとすることを議論して、対訳本の出版に漕ぎ着けることができた。

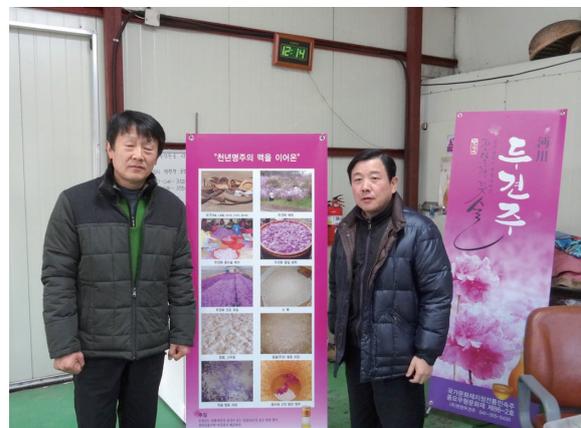
韓国滞在中の研究テーマは「韓国酒類産業の調査」であったが、言葉が分からないので僅かの資料を収集したに過ぎない。韓国酒類産業調査に関しては、11月に研究仲間の社会福祉学部中野元先生と豊田謙二先生と共に4歳元と酒造研究所の訪問調査を実施した。その後、日語日文学科の関先生、大田大学韓国伝統医療研究所のヒョン先生の案内で伝統酒11社を訪問し、インタビューと資料蒐集を行なった。蒐集した資料やデータの一部は日本語を学ぶ学生が翻訳してくれたので、手間と時間を大いに節約できた。

現在、韓国政府による大学改革が進行中であるため、

全国の大学で就職率が低迷している大学、教育効果が明確に出ていない大学は淘汰されようとしている。そのため、大田大学も学部改組や結果が見えるプロジェクトを前面に押し出し、大学の存在価値を高める努力がなされていた。そんな中、日語日文学科が貿易通商学科と合併することになったことは残念であった。

私は全く韓国語を喋れないし読み書きもできないが、生活する上で何ひとつ困ったことはなかった。大学内では、多くの先生が日本語で対応してくれたし、私の通じない英語でも根気よく聞いてくれた。学医学部の金博士は大田大学付属病院で韓方医療を受けること勧めてくれ、鍼灸医師としては最も権威ある先生の治療を受けることができた。更に同大学韓国伝統医療研究所の出入りを許され、金博士や研究員から韓国伝統酒について製法や効能について学ぶことができた。アパートの隣人の李さん一家は親日家であり、買物を手伝ってくれたり、観光地を案内してくれたりで大いに助かった。韓国の人々の親切だけで生活できたと言っても過言ではない。

日韓は政治的に微妙に難しい関係にあるので、文化と経済の交流を地道に展開し、新たな交流のステージを切り上げることが必要であると実感した。



忠清南道の杜鵑酒メーカーにて

深圳での一年

外国語学部教授 **李** **珊**

【2014年3月～2015年2月の1年間 交換教員として中国・深圳大学へ派遣】

学校を出て直ぐ日本に渡り、23年が過ぎた。しばしば帰郷してはいたが、今回のように一年も中国に滞在するのはそれ以来初めてだ。変貌が激しい経済特区深圳なので期待の一方、些か不安もあった。

深圳大学で担当する授業内容は主に二つ。一つは、映像を通し日本人や日本文化等を学生に紹介する。もう一つは、それら映像の中の日本語を学生と一緒に中国語に訳していくことだ。中国人で、その上専攻も中国語である私が、日本を正しく紹介できるだろうかと心配した。今時の学生が何に関心があり、どんな知識を求めているのか。最近の日中関係の下で、学生たちに自然に受け入れられる内容を考慮しながら模索する日々であったが、交換教員で来熊した董先生と魏先生の良きアドバイスと、LL教室一の職員達の協力もあり、教材選びを終えた時点で漸く少し自信のようなものがついて来た。最初の授業ではTV番組『YOUは何しに日本に来たの』を選んだ。ドイツから来た一人の青年が三ヶ月をかけて自転車で旅した日本海の美しさや、行く先々の心優しい人々との交流だった、等々。それも、もう来週が最後の講義となる。

この一年、その授業のために頭を悩ませてきた。録画を観て「こういう所は学ばなきゃ」と真剣に話し合い、討論で意見の違いから少々感情的になったり、また、お辞儀の練習で頭を下げる角度を何度も繰り返し丁寧にチェックする学生達の姿が目につく。私自身、足りないところは沢山あったが、有意義な仕事ができたとと思う。中国語訳の方では精神的に負担はなかったが、学生達の国語力のレベルにはしばしば泣きたい気もした。ただ、授業は週二コマしかないので、添削にたっぷり時間を掛けられた。書いては直しながらも根気よく頑張った学生達を今はほめたい気持ちである。

深圳に着いた時は、交換教員の宿舎が建替え中で、アパートに住むことになった。隣人は女性デザイナーに失業中の若者、地方から来た農民工など様々な境遇の人がいる。日本に行く前は北京の実家が大学の宿舎で、隣人は大学の教員ばかり。その頃まだ『好好学习・天天向上

(よく勉強して、毎日進歩しよう)』という時代で、勉強以外は殆ど何もしなかった。今回はまず隣人との付き合いから中国での社会生活に入ろうと思った。デザイナーの彼女は今風の中国の職場の決まり事を教えてくれて、失業中の若者は安いお店を案内してくれたし、いわゆる農民工の彼は故郷に置いてきた子供の教育の悩みを吐露してくれた。昔日本円で給料をもらっている私に平気で酒を奢らせた級友が今回は高級料理をご馳走してくれた時などは、中国経済の成長力を見せ付けられたように感じた。日本語学科の先生たちとは飲茶によく行き、五ツ星ホテルのマダム達のお茶会にも臆せず足を運んだ。映画館にも通い、雑誌も小説も手当たり次第に読み漁った。週三回の針治療の前か後に10分ほど、病院で脳神経麻痺に罹った3歳児の言葉の習得練習を半年間ほど手伝った。長く連絡していなかった学生時代の恩師にも勇気を出して会いに行った。香港、マカオ、広州そして少し遠い海南島にも一人旅をした。

先週の日曜の夜に送別会があった。北海道の札幌大学に私費留学に行く三年生11名のために同級生が開いたものだ(三年生計70名で、すでに5名は交換で日本に留学中)。皆とても明るく、彼らを見ていて心が和んだ。私が明日の授業があるからと、女子学生三人が気を遣い、外は暗いからと言ってアパートまで一緒に歩いて送ってくれた。そんな学生達と共に勉強できる時間は、もう残りわずかしかない。今この時を大切にしたいと思う。

2015年冬



深圳大学で学生たちとの忘年会

交換留学生の暮らしを紹介します！

韓国の大田大学校
からやって来ました!!

国際交流会館
REPORT

Profile

い そん ひ
李 松 熙

熊本学園大学へ2014年春に、交換留学生として来学。
外国語学部英米学科に所属。

趣味: 料理、音楽を聴くこと。
好きな日本の言葉: 休講 (笑)
これからの目標: 日本で就職したい!!!



ソンビ



こんにちは!韓国から来たイ ソンビです。
留学生たちの寮・国際交流会館について紹介したいと思います。
ここ数年は主に、交換留学生が住んでいましたが、
2014年の春に私費留学生、夏に県費留学生が入居し、秋
学期からは日本人の学生も住むことになって、もつとにぎ
やかな寮になりました。
幸せがもっと多くなった私たちの寮よろこそ!



熊本へ来てすぐ私の誕生日だったんです。
家族もいなくて寂しいかなと思ったけど、寮の皆が祝
ってくれてすごく感動しました。
寮の皆は優しくて第二の家族です。



集会室

テレビがあるのでゲームをしたり日本の
番組を見たりします。そして広いので、
寮の皆で集まってご飯を一緒に食べたり、
交流を深めたりします。



キッチン

1階のキッチンは皆で使う
所です。皆が料理をするので
世界の色々な料理を学んだり
味わったりすることができます。

洗濯室&OA室



2階には女子と男子別々に洗濯室があります。乾燥
機もあって30分100円で使用できます。
1階のOA室にはパソコンが2台、プリンターが1台
あります。



PASTA

親子丼

ソンビの
お手製料理☆



寮のみんなで
Birthday Partyを
するのも楽しみの
ひとつです♡

夕飯時間の
キッチンは
大混雑!!!
かなりやばいです!



2F~4F 部屋(全室で32部屋)

部屋のしくみは3つの個室と共用のリビング・ミニキッチン・バス・トイレがあるユニット式です。リビングにはテレビとエアコンが付いており、個室には、ベッド・勉強机・ロッカー・電話・エアコンが付いています。

寮の生活はすごく楽しいです。シェアハウスのように別々の部屋がありプライバシーを守れますが、共同スペースで三人も仲良くなれます！

寮に住んでいる皆はお互い手伝い合い、長い1日が終わって寮に帰るのが待ち遠しいし、居心地のいい場所です！

They all have a story that becomes a memory for life...

My Roomies
私のルームメイトたち



ロガ

エミ

2014 年秋学期から入居した日本人学生たち！



本田 杏奈
(ホスピタリティマネジメント学科2年)

下村 春菜
(東アジア学科3年)

斉藤 友子
(ホスピタリティマネジメント学科2年)

☆会館について一言☆

杏奈：色々な国の言葉が常に聞こえてくるのが面白いです！

春菜：多くのことを学んでいます。今まで出会ったことのない価値観や考え方に触れることができ、とても楽しいです。

友子：会館に入居してから新しい出会いが増えたとし、外国人留学生とお互いに勉強する時、役に立てるととても嬉しいです。

歓迎会 & 送別会

半年に一回留学生が入替わります。そのたびに歓迎会や送別会が寮で開催されます！

ポータルサイトや掲示板でお知らせするので、是非、参加して下さい☆



POST CARD

BY AIR MAIL
航空郵便

熊本学園大学国際交流会館は、学園創立50周年記念事業の一環で、留学生寮として1998年1月に完成。キャンパスから徒歩7分程度の場所にあり、鉄筋コンクリート造り地上4階建て。1階には事務室・ロビー・キッチン・OA室・集会室・和室が設けられ、事務室には24時間体制で職員が常駐している。会館全体にはバリアフリーの設計がなされており、2階には身障者用の個室とリビングのユニットが1部屋設けられている。以前、多くの留学生がヘルパーと共に滞在していたこともある。平成26年9月からは、3名の日本人学生が仲間入り。「国内留学」といった感覚で留学生との距離も縮まっている。平成27年1月現在9ヶ国・地域24名の学生たちが入居している。





日本でのインターンシップ経験について

商学部 第一部商学科 3年 ^{チョウ}張 ^{カン}瀚 ^{ショウ}丞

私は、商学部経営学科3年の張カンショウと申します。私は、中国山東省出身で四年前に来日しました。熊本^{熊本}の語学学校で日本語を2年間学び、その後熊本学園大学^{熊本学園大学}に入学しました。私は、今年の夏休みを利用して経営コンサルタント会社である^{(株)近代経営研究所}でインターンシップ研修を行い、その体験について感想を書かせていただきます。

私は、このインターンシップ研修を通じて多くのことを学ばせて頂きました。その中で、特に印象に残ったことが2つありました。

それはまず、社内のチームワーク力でした。近代経営研究所は、様々な業務部門に分かれており、朝は、まず社員全員で体操を行います。その後、一斉に社訓を読み上げそれからそれぞれの打合せに入っていきます。はじめに、その光景を目の当たりにして、皆さんの雰囲気は圧倒されると共に会社全員の強い団結心を感じました。

次に印象的だったのは、社員の方々の礼儀正しさでした。上司にどんな言葉を使うべきなのか、仕事場の同僚にどんな言葉を使うべきなのか、お客さんにどんな言葉を使うべきのかなど、その場の状況に応じて正しい日本語が使われていました。それを見て、改めて日本では、言葉を含めた礼儀がとても大事にされているのだと感じました。

インターンシップ研修の期間中、私が担当した主な業務は、資料整理と帳簿入力、そして翻訳の3つの仕事でした。研修をはじめた当初は、周囲の人たちに比べて自分の業務は比較的簡単な内容なのにどうして上手く出来ないのだろうと考える時がありました。しかし、日が経つにつれて、少しずつ出来るようになりま

した。毎日のこのような体験は、自分の未熟な部分を理解する良い機会になりました。例えば、エクセルやワードの機能の使い方や簿記についての知識、そしてビジネスで使う日本語などについてです。また、私の指導担当者の方からは、業務中は常にメモを取ることや仕事の中で改善すべき点を考え、それをきちんと行動に移すことなども指摘を頂きました。しかし、終わってみると指摘された通りに出来なかったことが大変心残りであり悔しい限りです。

私にとって、今回の2週間のインターンシップ研修では、これまで経験できなかった様々なことを実際の仕事の現場で体験することが出来てとても勉強になりました。この貴重な機会を与えて頂いた^{(株)近代経営研究所}の社長様をはじめ会社の皆様から心から感謝いたします。今後は、この経験を残りの大学生活や就職活動に活かしていきたいと思っております。



留学生寮の歓迎会にて

発展途上国で学んだこと

経済学部 国際経済学科 3年 **や だ あつし**
矢 田 篤

私は、2014年の夏、2週間カンボジアにインターンシップに行きました。私は、発展途上国の開発問題に興味があり、ゼミもその関連のゼミを選びました。ゼミでは普段、開発経済論を学んでおり、普段から東南アジアの国々を中心とする発展途上国について講義を受けています。そして、話を聞いているうちに、ただ話を聞いたり調べたりするのではなく、実際に現地に行って現地の現状を自分の目で確かめたい、と思うようになり今回カンボジアへインターンシップに行く決断をしました。インターンシップの目的としては、現地で村調査をして現地の経済状況を調べ、私たちに出来る事は何かを考える事や、孤児院や日本語学校を訪ね、日本語や日本文化を教え、私たち自身もそこからいろいろな事を学んでいくなどこのインターンシップには、たくさんの目的がありました。私たちが訪れた市は、アンコールワットがあることで知られているシェムリアップという所でした。そこで、印象に残っていることはたくさんありますが、特に印象に残っている出来事は、孤児院と日本語学校を訪問したことです。孤児院の子どもたちや、日本語学校の学生さんと接して印象的だったのは、ひたむきさです。日本の歌を教えたり日本の事について話したりする時だけでなく、外で体を動かしたりする時など、何をする時でも常に全力で取り組んでいる姿を見て私たちは一生懸命の大切さを教えて貰ったように感じました。カンボジアに行って実際に現地の人々と触れあうことで、今までに無かった価値観が生まれたり、先進国で生まれ育った自分たちがいかに恵まれていて、今後私たちが出来る事は何かを考えるきっかけになりました。そして、人生においていろいろな国に行き、現地の文化に触れる事は、必ず自分の人生の財産になると思いました。



孤児院ハッピーファミリーの子どもたちとの集合写真

海外で働くということ

外国語学部 英米学科 3年 **もり やま し ほ**
森 山 詩 帆

長期海外研修の内容は、初めの三か月は語学学校で学び、残り的一か月半はインターンシップが出来るプログラムです。語学学校では、英語でのプレゼンテーションやディスカッションが主でした。語学学校には様々な国から多くの生徒が集まるので、同じトピックで話していても全く違う意見が聞けました。自分の今まで住んでいた環境では思いつかないような意見が聞け、なおかつそういった議論が英語で出来たことにとっても充実感を感じました。

私がこのプログラムに参加したきっかけは自分の夢である海外で働きたいという思いからでした。なので、一か月半のインターンシップはそんな私にとって大変貴重な経験でした。私がインターンシップをしたクレグ・ダロックというお城では案内役や併設しているお土産屋さんでレジをしていました。毎日世界各国からくる観光客の英語をきいてコミュニケーションをとることは想像以上に難しかったです。落ち込んだことも多々ありましたが、観光客とスムーズに会話が交わすことが出来たり、「Thank you」や「Have a good day」などと声をかけてもらえた時はすごく嬉しかったです。この経験を糧にして自分の夢に向かってさらにステップアップしていきたいです。



思い出の一枚



友人たちと



UNGLとは何か？



文部科学省の平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」に採択を受けた「西日本から世界に翔たく異文化交流型リーダーシップ・プログラム」のことである。これを「西日本学生リーダーズ・スクール」と呼び、UNGLと略す。UNGLは英語表記である、University Network for Global Leadership Development in West Japanの略称である。このUNGLに本学も平成26年度より連携校として参加している。

UNGLの目的は、地域や国際社会で活躍するために求められるリーダーシップを体系的・継続的に養うプログラムを実施することにより、学び続けるリーダーを輩出することである。

APSSA2014 日本大会

APSSA (Asia Pacific Student Service Association: アジア太平洋学生支援協会) とは、1988年に世界で初めて設立された学生支援の協会である。アジア太平洋地域12か国40大学以上から会員が集まり(2012年6月現在)、学生支援の取組について議論を進めている。

APSSA国際大会は、1988年から、2年に1回ずつ開催されてきており、2014年8月、日本で初めて開催された。

APSSA2014日本大会は、8月7日～10日までの4日間、同志社大学(京都)で開催された。UNGLの中での位置づけは、英語力が要求されるアドバンスト・プログラムである。本学からも、学生スタッフとして5名を派遣した。そのときの写真と感想(抜粋)は以下の通りである。



● APSSAを通して学んだことを生かして

今まで他人の前でリーダーシップを発揮することに対して抵抗を感じていた私だが、APSSAにファシリテーターとして参加し、役割をやり終えたことによって自信が持てるようになった。このAPSSAを通して学んだこれらのリーダーシップのスキルや自信をこれからの大学生活やサークル、部活などの団体活動の中で積極的に生かしていきたいと考える。例えば、大学のオープンキャンパスの運営学生スタッフや災害ボランティア、行事ボランティアなどがある。また私はUNGLの他の活動にも参加し、様々な経験をしていくことで、よりレベルの高いリーダーシップ技術の習得、英語による異文化の理解を残りの3年半の大学生生活の中で行っていきたい。

APSSA九州ブロック ファシリテーター
経済学部 経済学科1年 沼田 康佑

平成 26 (2014) 年 海外往来

	派遣プログラム	受入プログラム
1月	■派遣交換留学生の帰国 (中国・北京第二外国語学院 [1名]、北京語言大学 [1名]、韓国・大田大学校 [4名])	■中国・上海からの東アジアインターンシップ研修生 [5名] (1/6～1/25)
2月	■派遣交換留学生の帰国 (中国・深圳大学 [2名]、韓国大田大学校 [2名]) ■派遣交換留学生・短期交換留学生の出発 (豪・ラトロープ大学 [2名]、ベトナム・ベトナム国家ハノイ校 [1名]、中国・深圳大学 [2名]、北京第二外国語学院 [1名]、韓国・大田大学校 [6名]) ■派遣交換教員の出発 (中国・深圳大学へ李珊先生) (2/19～)	■受入れ交換留学生の帰国 (韓国・大田大学校 [6名]、台湾・崑山科技大学 [1名]) ■受入れ交換教員の帰国 (大田大学校へ金應洙先生、深圳大学へ何微先生)
3月	■派遣交換教員の帰国 (韓国・大田大学校から境章先生) (～3/1)	■受入れ交換教員の来熊 (大田大学校から蔡聖山先生) ■ブータン王国・日本語学校訪問団一行 [学生・引率 23名] (3/12) ■カナダ・セント・メアリーズ大学派遣受入れ担当者 [1名] (3/12) ■受入れ交換留学生の帰国 (中国・深圳大学 [2名]、北京第二外国語学院 [1名]、ベトナム・ベトナム国家大学ハノイ校 [1名]) ■受入れ交換留学生の来熊 (韓国・大田大学校 [4名]、中国・深圳大学 [2名]、北京第二外国語学院 [1名]、ベトナム・ベトナム国家大学ハノイ校 [1名]、豪・ラトロープ大学 [1名])
4月	■派遣交換留学生の帰国 (カナダ・セントメアリーズ大学 [2名]) ■外国語学部長期海外研修・インターンシップ出発 (米・ウィクトリア大学 [学生 6名])	■ペルーからの県費留学生来熊 [1名] ■米・モンタナ州立大学学長御一行 [4名] (4/28)
5月	■派遣交換留学生の帰国 (米・モンタナ州立大学 [2名]) ■日本語教員養成課程・日本語教育演習・海外実習 (台湾・政治大学 [学生 3名]) (5/25～6/1) ■協定校等訪問 (マング・マング・ルウィン先生、カーク・マズデン先生 中国・広西民族大学相思湖学院訪問他)	■ブラジル在住熊本県人会会長御一行 [5名] (5/12)
6月	■派遣短期交換留学生の帰国 (豪・ラトロープ大学 [1名]) ■協定校訪問 (岡本学長一行 大田大学校訪問) [5名] (6/12～6/14)	
7月	■学部研修 (英米学科米コース [学生 20名] (7/20～8/18)、東アジア学科韓国コース [学生 16名] (7/28～8/23)) ■派遣交換留学生の帰国 (米・インカーネットワード大学 [1名])	■中国・上海私立文綺中学校修学旅行訪問団 [学生 32名、教員 3名] (7/7) ■台湾・崑山科技大学学生訪問団 [学生 3名、引率 1名] (7/24) ■韓国・大田大学校訪問団総長御一行 [3名] (7/25～7/27)
8月	■学部研修 (国際経済学科 NZ コース [学生 8名] (8/8 から 8/31)、東アジア学科中国コース [学生 25名] (8/10～9/6)) ■夏期国際教育プログラム (英・セントラル・ランカシャー大学 [学生 20名、引率 1名]) (8/9～9/1) ■国際経済学科 INTERNATIONAL INTERNSHIP・現地実習 (カンボジア・アンコールワット大学 [学生 8名、引率 2名]) ■派遣交換留学生の出発 (米・モンタナ州立大学 [3名]、米・インカーネットワード大学 [1名]、カナダ・セント・メアリーズ大学 [1名]、英・セントラル・ランカシャー大学 [3名]、米・ウィスコンシン大学オークレア校 [4名])	■中国・蘇州外国語学校訪問団学長御一行 [15名] (8/25) ■大田大学校からの学生代表団 [学生 19名、引率 3名] (8/27～8/29) ■受入れ交換留学生の帰国 (米・モンタナ州立大学 [4名]、米・インカーネットワード大学 [1名]、カナダ・セント・メアリーズ大学 [2名]、英・セントラル・ランカシャー大学 [3名]、豪・ラトロープ大学 [1名]、タイ・チュラロンコーン大学 [1名]、台湾・崑山科技大学 [1名])
9月	■日本語教員養成課程・日本語教育演習・海外実習 (韓国・大田大学校 [6名]) ■外国語学部長期海外研修・インターンシップ出発 (米・ウィクトリア大学 [7名]) ■社会福祉学部海外フィールドワーク (韓国・順天郷大学校 [学生 12名、引率 3名])	■中国・広西民族大学相思湖学院訪問団副書記御一行 [3名] (9/9) ■米・ウィスコンシン大学オークレア校担当者 [1名] (9/22) ■受入れ交換留学生の来熊 (9/4～9/9) (米・モンタナ州立大学 [1名]、米・インカーネットワード大学 [1名]、カナダ・セント・メアリーズ大学 [2名]、英・セントラル・ランカシャー大学 [1名]、タイ・チュラロンコーン大学 [1名]、台湾・崑山科技大学 [1名]、中国・広西民族大学相思湖学院 [4名])
10月		■熊本県中国広西館担当者 [1名] (10/27)
11月		■韓国・順天郷大学校学生訪問団 [学生 27名、教員 7名] (11/28～11/29)
12月	■派遣交換留学生の帰国 (豪・ラトロープ大学 [1名]) ■協定校等訪問 (マング・マング・ルウィン先生、カーク・マズデン先生 中国・広西民族大学相思湖学院訪問他)	■韓国・国立全南大学校グローバル人材養成プログラム訪問団来学 [学生 26名、引率 4名] (12/24)



平成 26 (2014) 年度 研修団往来

受 入	研修団名	研修期間	期 間	団員数
	第 15 回大田大学校学生代表団	8 月 27 日 (水) ~ 8 月 29 日 (金)	3 日間	学生 14 名、引率 3 名
	順天郷大学校学生訪問団	11 月 28 日 (金) ~ 11 月 29 日 (土)	2 日間	学生 25 名、引率 4 名、通訳 3 名

派 遣	研修団名	研修期間	期 間	研修・派遣先	団員数
	経済学部国際事情研修 ニュージーランドコース	8 月 8 日 (金) ~ 8 月 31 日 (日)	24 日間	ユニテック工科大学	8 名
	外国語学部海外研修アメリカコース	7 月 20 日 (日) ~ 8 月 18 日 (月)	30 日間	ヘセル大学	20 名
	外国語学部海外研修韓国コース	7 月 28 日 (月) ~ 8 月 23 日 (土)	27 日間	梨花女子大学校	16 名
	外国語学部海外研修中国コース	8 月 10 日 (日) ~ 9 月 6 日 (土)	28 日間	國立台湾師範大學	25 名
	社会福祉学部海外フィールドワーク 韓国順天郷大学校訪問研修	9 月 14 日 (日) ~ 9 月 17 日 (水)	4 日間	順天郷大学校	学生 12 名 引率 4 名

< 海外への派遣学生数 >

	派遣先大学名	平成 26 (2014) 年度			平成 25 (2013) 年度まで				
		交換	短期交換	サマーP ²	交換	短期交換	サマーP ²	HSP ¹	短期派遣
アメリカ	モンタナ州立大学	3			65				25
	モンタナ大学				21				
	キャロル大学				29				22
	ロッキーマウンテン大学								4
	インカーネットワーク大学	1			31				
	アワーレディオブザレイク大学 (熊本市交流事業)				7				
	ウイスコンシン大学オークレア校		4		10	2			
カナダ	セント・メアリーズ大学	1			26	2			
	カールトン大学				10				
イギリス	リバプールジョンモーズ大学				41	11			91
	アルスター大学				8				19
	セントラル・ランカシャー大学	3		20			10		
フランス	リヨン商科大学				2				
	ボワチエ大学				1				
ドイツ	ラインランド・プファルツ州立経済大学								16
オーストラリア	ラトロープ大学	1	1		27	1		124	
ニュージーランド	ユニテック工科大学				26	7		103	14
	クライストチャーチポリテクニク工科大学								
韓 国	大田大学校	6			73				
中国語圏	深圳大学	1			52				
	中国人民大学				8				
	北京外国語大学				11				
	北京語言大学				11				
	北京第二外国語学院	1			8				
	広西師範大学 (熊本市交流事業)				9				
	崑山科技大學				1				
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校	1			6				
タ イ	チュラロンコン大学				4				
	合 計	18	5	20	487	23	10	227	191

*1: 短期語学ホームステイプログラム
*2: サマープログラム

※注 1 網掛けの協定校は、現在交流を行っていない大学
 ※注 2 短期派遣留学 (2ヶ月派遣) は、平成 18 年度をもって終了
 ※注 3 短期交換留学 (1学期派遣) は平成 20 年度開始
 ※注 4 短期語学ホームステイプログラムは平成 24 年度以降実施なし
 ※注 5 サマープログラム (1ヶ月派遣) は平成 25 年度に夏期国際教育プログラムという名称で開始



平成 26 (2014) 年度 出身国・地域別外国人留学生数

春学期

(5月1日現在)

国 籍 (国・地域名)	学 部 学 生					研 究 生			大 学 院 生					交 換 留 学 生	合 計	
	1	2	3	4 以上	計	学部	院	計	1	2	博1	博2	博3 以上			計
アメリカ															5	5
イギリス															3	3
カナダ															2	2
韓国											1			1	4	5
中国	6	10	8	10	34				4	2			1	7	3	44
台湾										1				1	1	2
タイ															1	1
ベトナム															1	1
オーストラリア															2	2
ペルー						1		1								1
合計	6	10	8	10	34	1		1	4	3	1		1	9	22	66

【10カ国・地域 66名】

秋学期

(10月1日現在)

国 籍 (国・地域名)	学 部 学 生					研 究 生			大 学 院 生					交 換 留 学 生	合 計	
	1	2	3	4 以上	計	学部	院	計	1	2	博1	博2	博3 以上			計
アメリカ															1	1
カナダ															2	2
韓国											1			1	4	5
中国	6	10	8	8	32				4	2			1	7	7	46
台湾										1				1	1	2
タイ															1	1
ベトナム															1	1
ペルー						1		1								1
ポーランド															1	1
合計	6	10	8	8	32	1		1	4	3	1		1	9	18	60

【9カ国・地域 60名】

- ※ 「留学」の在留資格を持っている学生のみ。
- ※ 休学者を含まない。

PHOTO GALLERY

ASO TRIP



New Year's Party



GRADUATION!!



DISASTER EXPERIENCE

Welcome to Kumamoto





SPORTS FESTIVAL



KUJU TRIP



Coming-of-age Ceremony





2014(平成26)年1月から2015(平成27)年3月までの留学生参加行事

名称	主催	内容	期日
成人式	日本現代和装研究会	着物の着付けと式典出席	平成26年 1月13日(月)
ユネスコ能楽ワークショップ	熊本ユネスコ協会	能面の体験・仕舞の鑑賞など	1月18日(土)
第32回熊本春節祝賀会	熊本県日中協会	中国人留学生と協会員との交流	1月26日(日)
第20回 米国人留学大学生との交流会	熊本日米協会	米国人留学生と協会員との交流	1月30日(木)
ひな祭り	YWCA	和装での茶道・日本舞踊体験 琴の鑑賞	3月2日(日)
熊本市広域防災センター見学	熊本学園大学 国際教育課	防災センターで消防事情講話と 地震・台風・火災体験	4月7日(月)
春の新生歓迎バス旅行	熊本学園大学 国際教育課	阿蘇山火口・草千里ヶ浜阿蘇駅の足湯	4月19日(土)
ウェルカムパーティー	熊本留学生交流推進会議	新入留学生との交流会	5月17日(土)
第24回外国人留学生弁論大会	熊本学園大学国際交流委員会	本学留学生の日本語による弁論大会	6月7日(土)
秋津公民館での市民交流	秋津公民館	「タイ」についての講話と交流会	6月11日(水)
ボランティアガイド養成講座	熊本留学生交流推進会議	くまもとを知る講義と実地研修	7月6日(日) 7月12日(土)
第37回 火の国祭りおもてやん総踊り	大学コンソーシアム熊本	コンソ熊本・留学生チームとして参加	8月2日(土)
APSSA国際大会2014	UNGL	学生カンファレンスにおける ディスカッション	8月7日(木) ～8月10日(日)
留学生のための 内定獲得セミナー第一弾	大学コンソーシアム熊本	「自己分析・企業研究」「エントリーシート」の就職 指導	8月8日(金)
第36回 国際交流 夏のつどい	北海道国際交流センター	学校交流や地域交流を深める ホームステイプログラム	8月20日(水) ～8月29日(金)
熊本市広域防災センター見学	熊本学園大学 国際教育課	防災センターで消防事情講話と 地震・台風・火災体験	9月12日(金)
国慶節祝賀会	熊本県華僑総会	中国人留学生を招いての交流会	10月1日(水)
みずあかりボランティア	大学コンソーシアム熊本	会場設営・点灯ボランティア	10月11日(土)
留学生のための 内定獲得セミナー第二弾	大学コンソーシアム熊本	「面接対策」	10月11日(土)
体育祭	熊本学園大学体育常任委員会	体育祭へ参加	10月25日(土)
ウェルカムパーティー	熊本留学生交流推進会議	新入留学生との交流会	10月26日(日)
秋の新生歓迎バス旅行	熊本学園大学国際教育課	阿蘇神社参拝・大観峰・九重夢大吊橋	10月30日(木)
託麻祭	熊本学園大学第一部学生自治会	学園祭	10月31日(金) ～11月2日(日)
外国人留学生のための 就職フェア	熊本県	外国人留学生の採用を考える企業を交えての就 職説明会	11月15日(土)
日韓親善協会設立50周年 記念祝賀会	熊本県日韓親善協会	韓国人留学生を招いての祝賀会	11月26日(水)
WAの心で～おもてなし～	大学コンソーシアム熊本	熊本の観光地見学日本の文化体験	11月29日(土) 11月30日(日)
留学生シンポジウム	熊本留学生交流推進会議	第一部：「留学生に聞いてみよう！」 ～熊本に来て驚いたこと～をテーマに発表 第二部：餅つき	12月6日(土)
2014YearEndParty	熊本市国際交流振興事業団	各国の料理やゲーム・ステージショーを通しての 国際交流	12月6日(土)
駅伝大会	熊本学園大学第一部学生自治体育常 任委員会	駅伝	平成27年 1月10日(土)
～新聞から世界を感じよう～ 留学生と一緒に各国の新聞を読み比べ	しんぶんカフェ in熊大・学園大実行委員会	各国の新聞の読み比べを通しての国際交流	1月25日(日)
成人式	日本現代日本和装研究会	着物の着付けと式典出席	1月12日(月)
第21回 米国人留学大学生との交流会	熊本日米協会	米国人留学生と協会員との交流	1月29日(木)
第33回熊本春節祝賀会	熊本県日中協会	中国人留学生と協会員との交流	2月17日(火)
ひな祭り	YWCA	和装での茶道・日本舞踊体験 琴の鑑賞	3月1日(日)
留学生交流会&お花見会	大学コンソーシアム熊本	お花見を通しての留学生同士の交流	3月27日(金)

INTERNATIONAL EXCHANGE PROGRAM COMMITTEE MEMBERS

国際交流委員会メンバー

(2014年4月～2015年3月)

委員長 Chair	カーク マスデン Masden, KIRK	
商学部 Faculty of Commerce	太田 丈太郎 OTA, Jotaro	真島 理恵 MASHIMA, Rie
経済学部 Faculty of Economics	中敷嶺 孝能 NAKASHIKIRYO, Takayoshi	平松 燈 HIROMATSU, Tomoru
外国語学部 Faculty of Foreign Languages	米岡 ジュリ YONEOKA, Judy	小笠原 淳 OGASAWARA, Jun
社会福祉学部 Faculty of Social Welfare	橋本 公雄 HASHIMOTO, Kimio	仁科 伸子 NISHINA, Nobuko
大学院 Graduate School	末永 英男 SUENAGA, Hideo	喬 晋建 QIAO, Jinjian
国際教育課 Office of International Education	喜佐田 智子 KISADA, Tomoko	大澤 孝 OSAWA, Takashi

OFFICE STAFF MEMBERS

国際教育課スタッフ

(2014年4月～)

課長	喜佐田 智子 KISADA, Tomoko
係長	大澤 孝 OSAWA, Takashi
	北原かおり KITAHARA, Kaori
	大村 美沙季 OMURA, Misaki
	清田 俊秀 KIYOTA, Toshihide
	笈木 麻理 MOMIKI, Mari
国際交流会館 (事務室)	前田 清明 MAEDA, Kiyooki

熊本学園大学 国際交流レター 2014 vol.36
編集・発行 熊本学園大学国際教育課

平成27(2015)年1月発行



〒862-8680 熊本市中央区大江2丁目5番1号

TEL 096-364-5161(代)

FAX 096-372-4112

[ホームページ] <http://www.kumagaku.ac.jp/>

[facebook] <https://www.facebook.com/kumagakukokko>